

公 孫 樹

東京都立
豊多摩高等学校
令和7年12月
第68号

東京都杉並区
成田西2-6-18
TEL03(3393)1331



「記念祭を終えて」

生徒保健部 木原 延昭

「隈々まだ」だわりたい」

学校長 高見澤 健吾

「神は細部に宿る」20世紀初頭の建築家ミース・ファン・デル・ローが好んで使っていた言葉です。たいへん示唆に富んでいる言葉で、芸術家や

建築家、実業家、果ては政治家など多くの人々に、

多様な場面で用いられています。元サッカー日本

代表の岡田武志監督も「勝利の女神は細部に宿る」

と、この言葉を引用しています。ドイツで開催さ

れたワールドカップの日本対オーストラリア戦で、

相手のミドルショートに対し、きっと入らないだ

ろうとの思いから十分に体を張らなかつた結果、

ゴールが決まり日本は逆転負け。しつかり体を張

つて阻止しようとしていたら、この結果にはなら

なかつた。戦術や個人技以上に、そういう隅々

への意識が影響する。これくらい良いだろうで

はなく、ちょっとしたことを日頃からきちんとで

きている。そういう些細なことが勝負を分けると

言っています。

仕事は勝負ではありませんし、人間もパーフェ

クトではありませんが、細部を目指していかなければ、また、意識しなければ、完成度の高い良い

仕事はできないと思います。しかし、実際に私自身で考えると、やはり脆弱なことや粗削りな場面

があることは否めず、日々、点検・反省を繰り返

しています。反省して下ばかり向いていても仕方ないので、すべて完璧な人間はいないと前向き（言い訳？開き直り？）にどちらえています。ただ、細部まで熱をもって取り組むことを目指す、意識することが大切であると考え、ひたむきに努力はしています。

学友の皆さんはどうでしょうか。高校生の仕事といえば、学習、部活動、行事でしょうか。なにかと忙しい皆さんです。なかなか難しいとは思いますが、細かいところまでやり切れている？難になつていらない？と点検してみてください。学習、部活動、行事……。

何かが見え、こだわつてみようという考え方になり、良い成果が現れ、力が大きく伸びることにつながるかもしれません。

細部まで熱をもてる人になりたいですね。共に頑張りましょう。



この2年生のキャップ軍団がとても素晴らしい、大変意欲的に「記念祭を絶対盛り上げてやるんだ！」という気概に溢れたメンバーが揃いました。総長・2年の松本日陽さんは、私への「報・連・相」を欠かさず行い、日々たくさんアイデアを提案してくださいました。そうなると、私も彼らのやる気に応えていく気持ちが自然と強くなっています。「彼らと一緒に記念祭を絶対に成功させるぞ」との思いは日に日に増していました。担当として、総長はじめこのキャップのメンバーたちと巡り会えたのはとてもラッキーでした。

Touch the Sky! TOYOTAMA!

装飾班の作成した入場門と巨大垂れ幕は、今年の記念祭の目玉でした。特に入場門は実行委員だけではなく、広く有志の学友たちも製作に参加し、今年度の修学旅行の地・沖縄の守礼門をモチーフとして莊厳で巨大な門が完成しました。垂れ幕についても素晴らしいものが出来上がり、約縦6m×横10mで沖縄の県花・ハイビスカスに「豊多摩記念祭」の大好きな文字が映えるものでした。今年は2つの「映えスポット」での来場者による写真撮影がたくさん見られ、その光景に実行委員とともに感慨深い思いをしたものでした。



さて、今年の記念祭の大きな特徴は、演劇団体の増加です。特に、3年生は8クラス中6クラスが演劇上演を行い、1年生の1クラスを加えて7クラスが演劇を上演しました。観聴覚室と生徒ホールの2つの会場で熱演が繰り広げられ、どの回もどのクラスも満員御礼、歓喜の拍手に包まれました。この光景を見た2年生が「来年は、オレたちも演劇やろう」と日々に漏らしていたのも印象的でした。

調理室のスペースの関係上、調理団体数の制限を設け、それによりはじめてキッチンカーを招聘しました。クレープやかき氷、たこ焼きにケバブなど、どの店舗も行列ができる盛況ぶりでした。担当として、飲食はキッチンカーに任せて、クラス企画は演劇などの発表や巨大展示物の作成などに取り組んで欲しいという願いもありました。キッチンカーを次年度以降継続するか否かの是非は今後検討するとして、演劇を中心とする発表・企画展示がさらに増えて流れになつてくれれば嬉しい限りです。

記念祭の実現は、教員だけでなく、もちろんPTAをはじめとする保護者の皆様のご理解とご支援なくしては成し得ないものです。特に、キッチンカーの導入により「おやじの会」のみなさまには、例年にな



「体育祭を終えて」

生徒保健部 今井 一雄

令和7年9月26日（金）、無事に今年度の体育祭を終えることができました。今年も9月末の実施でしたが秋の気配は感じられず、暑い日々が続くなかで、大きな事故、ケガなく実施できることにほっとした気持ちです。PTAからはミストシャワーのレンタルをしていただき、生徒は大いに活用させていただきました。また、多くの保護者の皆様に観覧いただき、声援が生徒の活躍を後押ししてくださったこと感謝しております。

今年度は3年生の実行委員長を中心に各団応援団長がまとまり、非常に結束の強い組織で運営されました。ルールや実施内容を精査し、様々なアイデアを出し合い、より楽しめる競技へのリニューアルを果たしたことは素晴らしいと思います。このことは例年散見されるルール、判定への不満がほとんど見られなかったことに表されていましたではないでしょうか。開催時期などの課題も今後検討されます

が、どのような形であれ、素晴らしいものを作り上げていける力を豊多摩生は持っていると改めて感じさせてくれた体育祭でした。